

別記様式第2号

会議の概要報告

会議の名称	佐野市子ども・子育て会議				
1 開催日時	令和元年7月10日(水) 13時30分～15時30分				
2 開催場所	市役所 6階大会議室C				
3 委員等の人数	20人				
4 出席委員等の人数	13人				
5 議題	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長の選出について【資料1】 ・「佐野市子ども・子育て支援事業計画」における平成30年度の計画の達成状況の点検及び評価について【資料2】 ・「第2期佐野市子ども・子育て支援事業計画」の策定について【資料3】 				
6 会議の公開・非公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開・非公開の理由				
7 傍聴者の数	0人				
8 会議資料の名称	<資料 No.1> 佐野市子ども・子育て会議条例及び規則、子ども・子育て会議委員名簿 <資料 No.2-1> 佐野市子ども・子育て支援事業計画平成30年度事業実績報告 <資料 No.3-1> 「第2期佐野市子ども・子育て支援事業計画」の策定について <資料 No.3-2> 「第2期佐野市子ども・子育て支援事業計画」の骨子案 <資料 No.3-3> 次世代育成支援施策の取組骨子案				
9 会議の概要 (発言の要旨)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">①会長・副会長の選出について</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">会長に小林研介氏、副会長に長谷川一宏氏が選出された。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">②「佐野市子ども・子育て支援事業計画」における平成30年度の計画の達成状況の点検及び評価について</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">達成状況については、資料の案どおり評価された。</td> </tr> </table>	①会長・副会長の選出について	会長に小林研介氏、副会長に長谷川一宏氏が選出された。	②「佐野市子ども・子育て支援事業計画」における平成30年度の計画の達成状況の点検及び評価について	達成状況については、資料の案どおり評価された。
①会長・副会長の選出について					
会長に小林研介氏、副会長に長谷川一宏氏が選出された。					
②「佐野市子ども・子育て支援事業計画」における平成30年度の計画の達成状況の点検及び評価について					
達成状況については、資料の案どおり評価された。					

意見	回答
<p>P5～6 佐野小学校のこどもクラブを2支援に分けられなかった理由を教えてください。(小早川委員)</p>	<p>平成27年度に佐野こどもクラブを佐野小学校内に整備しました。その際に預かる人数に対しての面積要件や職員の配置などの基準があり、1支援分は確保できましたが、もう1支援分の指導員の確保ができなかった。</p>
<p>P1 確保方策での数値と定員数の違いを教えてください。(小早川委員)</p>	<p>定員数については国に届けている利用定員という施設が定めている定員数になっています。実際は保育士の確保の状況によって定員が異なってくるため、確保方策内に記載しているのは、施設が実際預かれる定員数となっています。</p>
<p>③「第2期佐野市子ども・子育て支援事業計画」の策定について</p>	
<p>計画策定体制、経過とスケジュール並びに骨子案について説明し、会議の承認を得た。</p>	
意見	回答
<p>市では佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画が進んでいる。それが進んだ場合のこどもクラブの設置について、こどもクラブへの送迎なども含めて検討していただきたい。(小早川委員)</p> <p>飛駒のこどもクラブの先生と話したときに、スクールバスは乗せた場所しか送ってこないということがあり、こどもクラブまで送ってもらえないという話を聞いた。(久富委員)</p>	<p>佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画については2047年の長期計画になり、また計画上で学校の配置なども決まっていない。子ども・子育て支援事業計画は5年計画のため、合わせるのが難しいのが現状。スクールバスは補助をもらって実施している。文部科学省での管轄になっていて詳細のルールについては、教育委員会で問い合わせをしている。あそ野学園が来春には開校するため、教育委員会と連携しながら進めていきたい。</p>
<p>今後、企業主導型保育事業の量と質の確保をどのように考えていくのか。また、事業計</p>	<p>企業主導型保育事業は市や県に関計画、国が主導になって進めていくものになります。届け出があれば</p>

	<p>画内での位置づけもどのようにしていくのか。(中村委員)</p>	<p>認可外保育施設としてできてしまう。中山委員のおっしゃるように、事業計画内に見込むのは非常に難しい。また、市としては認可外保育施設として指導はできるものの、指導などのアプローチが難しい。ただ新聞でもあるように企業主導型保育事業は問題点も多く、国の補助金もなかなか出ず、運営もストップしてしまうこともある。今後どうやっていくのか過渡期にあると考えている。市内にも3つの企業内保育所があるため適切な対応を講じていきたいと考えています。</p>
	<p>認可外保育については、市として良い意味での縛りを講じたらよいと思います。</p> <p>認可外保育施設の立ち入りは毎年実施しているのか。(中村委員)</p>	<p>認可外施設についても無償化も対象となっている。市としても密接に対応していきたいという考えでいるため、事業計画に書き込むのは難しいが、別の手立てを考えていきたい。</p> <p>立ち入りについては、毎年実施して質の確保をしていきたい。</p>
	<p>基本理念に佐野に住みたいというフレーズが入っている。隣の栃木市は住みたい田舎ベストランキングの子育ての項目でトップになっている。佐野市と栃木市では何が違うのか。(小早川委員)</p>	<p>他市町との比較という意味では研究をしていない。</p>
<p>10 その他</p>	<p>①「子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書」について</p> <p>②保育施設等の整備について 待機児童数（H31.4.1現在）の報告とその対策としての民間許可保育所の新設案の承認を得た。 R1 運営事業者の公募、R2 施設整備、R3 開園。</p>	

その他	
意見	回答
<p>保育士不足のなか、施設を増やして保育士確保はできるのか。(山崎委員)</p>	<p>全国的に不足しているが、保育所を開設していただく際には、様々なネットワークを活用して保育士を確保してもらおう。保育施設の事業所の選考においても、事業者から確保方策を提案していただいて、選考委員会にて判断しながら、保育士の確保をしていきたいと考えています。</p>
<p>③幼児教育・保育の無償化及び保育料条例の改正案の説明</p>	